

ベンチャーチャレンジ職員育成事業 [研究実施の流れ(例)]

4月～7月

政策提案力向上研修(前期)

〔 公募+部局推薦による若手・中堅職員20名程度を対象
(同年度の本事業に参加することを必須化) 〕

- 1日目 本事業参加に向けたグルーピング・テーマ(具体的研究内容)選定方法の習得
- 2日目 先進取組事例等を視察し、事業化へのイメージを抱く
- 3日目 政策形成の基本知識の習得(現場での情報収集、現状分析、課題発見・解決等のノウハウの習得)

プロフェッショナル支援

多種多様な分野の民間企業と繋がりのあるコンサルタント業者を通じ、申請に必要な連携先を模索する提案者に民間企業等を紹介・斡旋



応募

事業指定・伴走支援(研修センター)

必須になっている現地調査、民間等との連携、事業化を目指しているか等の観点から事業を選定し、事業指定後の伴走支援を実施

研究テーマに応じたグループ活動の開始

「子育て支援研究」の場合

◇プロフェッショナル支援

社会福祉法人南山城学園等の福祉の専門家派遣による事業の方向性の確認や先進事例の紹介等のアドバイスから提案事業のブラッシュアップ

◇先進地調査

日本の保育園に相当するプリスクール、ライセンスを得た個人宅で少人数を預かるファミリーチャイルドケアや研修を受けた13歳以上ならベビシッターとして子供を預かることができるカナダBC州を視察

政策提案力向上研修(後期) ※指定済み研究者が対象

- 4日目 エビデンスに基づいたデータ解析及び具体的活用のノウハウ習得
- 5日目 効果的な資料作成、話し方など、プレゼンのノウハウの習得

中間報告

研究活動の進捗状況を報告するとともに、政策研究支援課長(大学教授)や関係部局職員との意見交換等を実施することにより、今後の研究に役立てる

研究成果報告

政策研究支援課長(大学教授)や関係部局長の意見を踏まえ、二役報告を行う研究グループを選抜

二役報告

二役、部局長等へ成果報告

重点事業支援

二役報告において、優秀な提案と評価された研究の事業化に向けた部局との研究を支援

PR活動

研究成果の府HPへの掲載のほか、府民等に向けたPRを実施

次年度の当初予算要求・事業化へ

8月～
R4
1月

6月

8月～